

令和四年度 前期日程

国 語

入学者選抜学力検査問題

〔注 意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子の問題は余白を含めて八ページ、解答用紙は一枚からなっている。
- 6 この冊子のうちに落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 この問題の内容に関する質問には答えない。
- 8 この問題の満点は百点である。文学部日本・中国文学科は四百点に、文学部欧米言語文化学科・歴史学科・和食文化学科および公共政策学部は二百点に換算する。
- 9 字数制限のある解答では、句読点や括弧なども字数に含める。
- 10 問題冊子は持ち帰ること。

一

次の文章は、ある作者が著書の執筆意図を記した文章の一部である。よく読んで、後の問いに答えよ。なお設問の都合上、表記を改めたところがある。(40点)

著作権の関係で不掲載

著作権の關係で不掲載

著作権の関係で不掲載

(亀田達也『モラルの起源―実験社会科学からの問い』による)

(注) ○生態学……生物学の一分野。生物と環境の関係や同じ環境の中の生物間、生物と環境との関係を研究する学問。 ○進化生物学……生物学の一分野。種の起源や進化、生物多様性などを研究する学問。 ○ベゴン……マイケル・ベゴン。イギリスの生態学者。 ○自然淘汰……自然選択。生存の条件に適応する生物は生き残り、そうでないものは滅びること。 ○タイムラグ……時間上のずれ。

問一 傍線部①、⑩のカタカナを、楷書の漢字に改めよ。

問二 ①、③には、人の身体の一部を示す漢字一文字が入る。それぞれ記せ。ただし同じ文字は入らない。

問三 文章の中には、作者が自分の経験を軽いユーモアを交えて書いた五十字ほどのところがある。句読点やカギ括弧などを含めて、最初の五文字を抜き出せ。

問四 作者は「適応」という概念について「進化時間」「歴史時間・文化時間」「生活時間」という三つの時間軸を想定している。それぞれの「時間」について、それぞれの違いがわかるように簡潔に説明せよ。

二

次の文章は、印刷した書物（刷り本）と手書きの書物（写し本）について論じた、『玉勝間』の一部である。よく読んで、後の問いに答えよ。（30点）

著作権の関係で不掲載

(注) ○ふみあき人……書物を扱う商人。 ○皇朝……日本のこと。 ○要し給ふ……手に入れようとなさる。

問一 傍線部 ア ㄱ エ を、文脈を考えながら、現代語訳せよ。

問二 本文中の 1 ㄱ 5 にはすべて「ある」という動詞が入る。それぞれ、適切な活用形になおして記せ。

問三 二重傍線部 I・II の「こ」が指す内容を、それぞれ具体的に説明せよ。

問四 波線部 A をわかりやすく現代語訳せよ。

問五 波線部 B について、「こころざしあらむ人」とはどのような人物かを具体的に説明しながら、わかりやすく現代語訳せよ。

問六 この文章の著者による他の著作を、次の ① ㄱ ⑤ の中から一つ選べ。

- ① 鈴屋集 ② 歌意考 ③ 勾玉考 ④ 大言海 ⑤ 脚結抄

三

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点・送りがなを省略したところがある。(30点)

著作権の関係で不掲載

(『太平広記』による)

(注) ○張帖……唐の詩人。 ○粧束……服装。 ○囊……袋。 ○殷……盛んな様。 ○揖……両手を胸の前で組み合わせること。 対等の人に対するあいさつ。 ○仮……貸すこと。 ○緡……銅銭千枚。 ○却回……帰る。 ○五鼓……夜明け前に鳴らされる太鼓。 ○杳……はつきりしないさま。 ○彰露……ばれる。 ○豕……ブタ。 ○頓……急に。

問一 傍線部 ア 〱 才の読みを、送りがなも含めてすべて現代かなづかいによりひらがなで記せ。

問二 傍線部 A を

- (1) 現代かなづかいによりひらがなで書き下し文にし、
- (2) 現代語訳せよ。

問三 傍線部 B を

- (1) 現代かなづかいによりひらがなで書き下し文にし、
- (2) なぜこのように言うかを説明せよ。

問四 傍線部 C を言葉を補って現代語訳せよ。

問五 傍線部 D について、なぜこのようになったかを説明せよ。